

桜（河口恭吾）：二揚

二揚

中	ぼく
工	く
上	が
合	そば
上	に
五	いる
中	よ
工	
六	
六	

工	き
中	み
上	を
工	わ
工	ら
五	わ
五	せ
工	る
六	か
六	ら

六	さ
八	く
九	ら
九	ま
九	う
八	き
九	せ
八	つ
六	か
五	ぞ
六	え

工	き
五	み
上	と
工	あ
五	る
七	い
六	て
工	い
中	こ
工	う

上	ま
	ぶ
四	し
	い
合	あ
	さ
老	は
合	なぜ
上	か
	せ
工	つ

上	な
	く
	て
四	りゆう
下老	を
	さ
合	が
工	す
	ように
五	
五	
五	

	き
六	み
六	み
七	み
上	つ
工	め
五	て
五	い
五	た

	な
上	み
	だ
四	の
	よ
合	る
	は
老	

上	つ
	き
工	の
	ひ
上	か
	り
四	に
下老	
工	ふ
	る
五	え
	て

工	い
	た
六	よ
四	ふ
七	た
八	り
五	で
五	Ah
五	Ah

中	い
工	つ
上	も
合	そば
上	に
五	いる
中	よ
工	
六	
六	

工	き
中	み
上	を
工	わ
工	ら
五	わ
五	せ
工	る
六	か
六	ら

桜（河口恭吾）：二揚

二揚

六	や
八	わ
九	ら
九	か
九	な
八	か
九	ぜ
八	に
六	ふ
五	か
六	れ

工	き
五	み
上	と
工	あ
五	る
七	い
六	て
工	い
中	こ
工	う

工	き
五	み
上	と
工	あ
五	る
七	い
六	て
工	い
中	こ
工	う

四	Ah -
上	Ah -
	き
六	みがー
五	い
工	いる
工	る

四	Ah -
上	Ah -
	き
六	みがー
五	い
工	いる
工	る

上	い
四	つ
下老	も
	そ
六	ば
五	に
工	い
中	る
工	よ

合	
四	
工	
四	
工	
四	
合	
四	
工	
四	
工	
四	
工	

一、ぼくが そばにいるよ きみを
 わらわせるから さくらまう
 きせつかぞえ きみとあるいてい
 ころ まぶしいあさは なぜか
 せつなくて りゆうをさがすよう
 に きみをみつめていた なみ
 だのよるは つきのひかりに
 ふるえていたよ ふたりで
 h A h A
 A